

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャンパスライフ入門(Orientation to Campus Life) 2010011-001					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
長岡大学での4年間の大学生活を有意義に送るために必要な知識、大学から地域からの期待、社会生活のルールとマナー等を講義形式で学び、長岡大生としての自覚と誇りを持ち、地域で活躍する人材となって育って行くための心構えを学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／地域社会に貢献する姿勢を養う授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
外部講師による授業もふくめて講義形式による授業が中心になる。各回の授業内容は外部講師の事情等により講義日、内容が変わる場合がある。各授業の最後には授業内容に沿った課題を課す。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「ゼミナールⅠ（前）」、「ゼミナールⅠ（後）」「キャリア開発Ⅰ」、「日本事情」（留学生）									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 大学及びその基盤としての地域の一員として身につけるべき知識を他者に説明できる。 (ii) 大学での学び方、マナーを他者に説明できる。 (iii) キャリア形成の土台となる知識を他者に説明できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
山田剛史・林創（2011）『大学生のためのリサーチリテラシー入門—研究のための8つの力』ミネルヴァ書房 佐藤智明、矢島彰、安保勝也（2014）『3訂大学学びのことはじめ』ナカニシヤ出版									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 大学・地域の一員として身につけるべき知識	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等に頼らず説明できる	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等を見ながら説明できる	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	大学・地域の一員として身につけるべき知識を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 大学での学び方、マナー	大学での学び方、マナーを資料等に頼らず他者に説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	大学での学び方、マナーを資料等に頼らず説明できる	大学での学び方、マナーを資料等を見ながら説明できる	大学での学び方、マナーを資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	大学での学び方、マナーを資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) キャリア形成の土台となる知識	キャリア形成の土台となる知識を資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた分析も説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等に頼らず説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等を見ながら説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	キャリア形成の土台となる知識を資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%			40%		20%		100%
(i) 大学・地域の一員として身につけるべき知識				10%				10%
(ii) 大学での学び方、マナー	20%			20%		20%		60%
(iii) キャリア形成の土台となる知識	20%			10%				30%
フィードバックの方法	レポートやテストの評価をフィードバックする。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
意義ある大学生活を送ることができるよう、また将来の目標を考えて充実のキャリア形成につながる土台作りに寄与する授業を目指す。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、授業の実施法、何のために何を大学で学ぶのか	配布資料の復習、大学生活での目標の考察	60分
2	講義の受け方・ノートを取り方	配布資料の復習、授業ノートのとり方の見直し	60分
3	学長講話	配布資料の復習、社会人基礎力についての復習	60分
4	資格取得の意義	配布資料の復習、資格取得及びその学習計画の検討	60分
5	ハラスメント防止	配布資料の復習、ハラスメント回避についての考察	60分
6	課外活動の大切さ	配布資料の復習、課外活動の参加計画の検討	60分
7	地域活性化プログラムの紹介	配布資料の復習、昨年度の地域活性化プログラム事例の復習	60分
8	社会人としてのルールとマナー 1（交通ルール）	配布資料の復習、自転車・歩行者の安全に関する復習	60分
9	インターネットを使った情報の調べ方	配布資料の復習、インターネット情報収集法の復習	60分
10	社会人としてのルールとマナー 2（日常生活の中の契約）	配布資料の復習、自信臣の周りの契約に関する考察・振り返り	60分
11	インターンシップとは、キャリア開発について	配布資料の復習、夏休み等のインターンシップの検討	60分
12	社会人としてのルールとマナー 3（心と体の健康）	配布資料の復習、薬害問題・HIVについての復習	60分
13	レポートの書き方	配布資料の復習、レポートの書き方の復習	60分
14	社会人としてのルールとマナー 4（くらしと税）	配布資料の復習、税制復習、自分のキャッシュフローの検討	60分
15	OB・OG が語る大学生活	配布資料の復習、今後の大学生活の計画検討	60分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性